会費・募金へのご協力ありがとうございました

平成 21 年度も多くのご協力をいただき、みなさまのあたたかいお気持ちに心より感謝いたします。これからも地域の信頼を得られる活動を行い、皆様から寄せられた会費・募金がさらに地域で生かされるよう努力してまいります。

平成２１年度　港南区社協特別賛助会費（平成２１年７月～１０月）

総額 ２５８，０００円

港南区の高齢者・障害者をはじめとする様々な方への支援活動に有効に活用させていただきます。

納入者一覧

（宗）福聚院、（有）石力石材店、ねもと（有）、（有）大輪、太平住販（株）、（有）共栄商事不動産、（有）飯島測量、（株）プリントン、（株）古屋商店、（宗）貞昌院、（有）エス・テクニカルサービス、港南テクニクス（株）、（有）中央美工社、医療法人社団 成仁会 長田病院、（株）ヨコハマテレナード、（株）エステック、（株）首都圏サービス、（株）京急百貨店、（株）染谷商店、（株）建設工業調査会、（株）黄金メッキ工場、建設情報サービス（株）、（有）丸吉商事、（有）ティー・エー・ケー　中山会計事務所、（有）新興防災、ヨコハマ・ファイブ（株）、（株）新世、（有）粉間組、（有）内倉商事、自性院、（株）朝日商事、上大岡仁正クリニック・（株）サカエ塗装、ワミレスコスメティックス（株）、（株）ツクイ、（有）荒井管工、（宗）浄念寺、中村建設（株）、（株）すずか工務店（順不同・敬称略）

平成２１年度　赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金（平成２１年１０月～）

募金の実績は次のとおりとなっております。（平成 22 年 1 月 31 日現在）

「赤い羽共同募金」は、神奈川県共同募金会を通じて平成 22 年度に県内の施設や団体に配分されます。
「年末たすけあい募金」は、港南区社協を通じて申請のあった区内の団体・活動に配分しました。

◆募金実績

種　類	赤い羽根共同募金	年末たすけあい募金
戸別募金	13,143,448 円	3,747,866 円
街頭募金	562,979 円	85,411 円
法人募金	758,000 円	0 円
学校募金	5,731 円	5,500 円
職域募金	10,368 円	10,400 円
その他の募金	853,231 円	1224,115 円
合　計	15,333,757 円	5,073,292 円

◆年末たすけあい配分先

高齢者支援事業	7 件	315,000 円
障害児者支援事業	7 件	220,000 円
障害者地域作業所	7 件	420,000 円
小規模通所授産施設	3 件	180,000 円
地域活動ホーム	3 件	90,000 円
グループホーム	10 件	391,700 円
知的障害者更生施設	1 件	30,000 円
就労支援施設	1 件	30,000 円
子育て支援	1 件	30,000 円
地区社協活動助成	15 件	2,680,000 円
地区社協特別事業助成	3 件	110,000 円
合　計	58 件	4,496,700 円

平成２１年度　日本赤十字社社資募集運動（平成２１年５月～）

社資総額 １３,２７１,１８１円

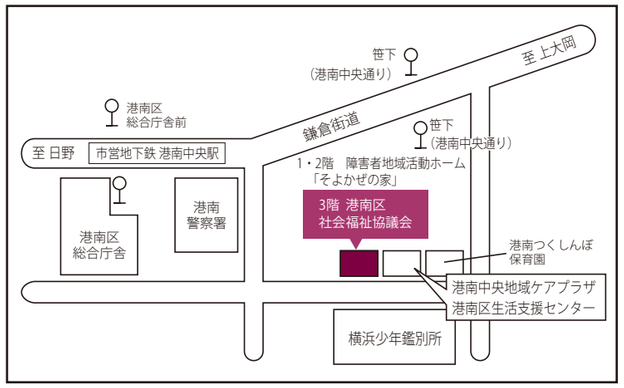
平成 22 年 1 月 31 日現在

日本赤十字社県本部に送金し、国内外の救援活動や区内の救急法講習会の開催・罹災世帯への災害見舞金にあてられます。

社会福祉法人
横浜市港南区社会福祉協議会

〒233-0003　港南区港南 4-2-8　3 階
港南区福祉保健活動拠点内
TEL：045-841-0256　FAX：045-846-4117
URL：http://www.kounan-shakyo.jp/
E-mail：info@kounan-shakyo.jp

港南区社会福祉協議会広報委員
伊藤　正　村田増江　横川朱実　小谷洋子　片伯部富
齋藤新二　渡辺慎作　守　悦子



こうなん 59

社協だより
ボランティアセンター通信合併号

■発行 / 社会福祉法人　横浜市港南区社会福祉協議会　■発行責任者 / 清水　鐵夫　■発行日 / 平成 22 年 3 月　横浜市港南区連合町内会　平成 21 年度　承認第 15 号

社協ってなんだろう？

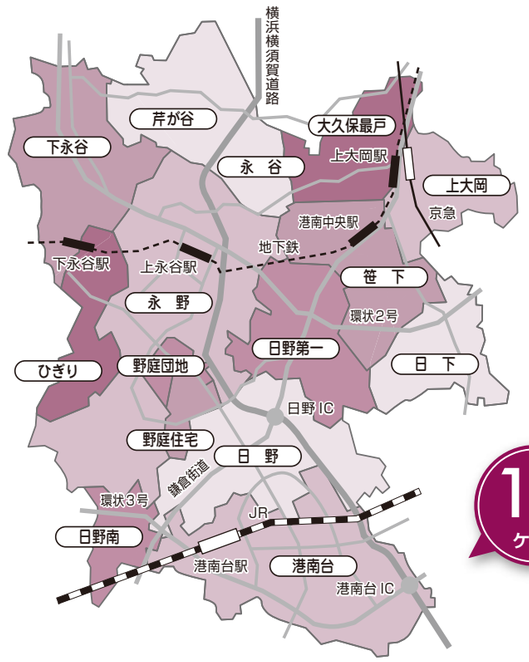
社協の成り立ち

社会福祉協議会（以下「社協」）は、戦後間もない昭和 26 年（1951 年）に民間の社会福祉活動を進めるために全国と都道府県に誕生し、やがて市区町村にもできました。港南区では、昭和 40 年代から地区社協も誕生しています。社協は、社会福祉法第 109 条にも記載された民間の非営利団体で、地域住民や社会福祉関係者の参加・協力により、地域の福祉課題の解決にあたります。

社協の種類

社協は、それぞれに住民や社会福祉関係団体が会員となり、運営を行っています。「神奈川県社協」「横浜市社協」「港南区社協」は、社会福祉法人格や事務所を持ち専任の職員もいる一方で、「地区社協」は町内会などと同じように住民のみなさんの自主的なボランティア活動です。

地区社協ってなんだろう？



地区社協は、
住民に最も「身近」な社協として、
地域の方々が「自分の地域は自分たちで良くしていこう」という気持ちで組織された
任意の団体で、港南区には
15 ヶ所あります。

15 ヶ所

もっとくわしく

地区社協ってなんだろう？

Q&A

Q1 活動の財源は？

A 市社協・区社協からの補助金(※)、地区独自の賛助会費やバザー収益などがあります。

※補助金は共同募金や年末たすけあい募金、善意銀行に寄せられた寄付金などが財源となっています。

Q2 活動の拠点はどんなところ？

A 決まった事務所などはなく、町内会館・地域ケアプラザ・地区センターなど、身近で集まれる場所を拠点として活動しています。

Q3 区社協との関わりは？

A 区社協は、助成金の交付や研修の開催などをとおして地区社協の活動を応援しています。

Q4 誰でも利用できるのかな？

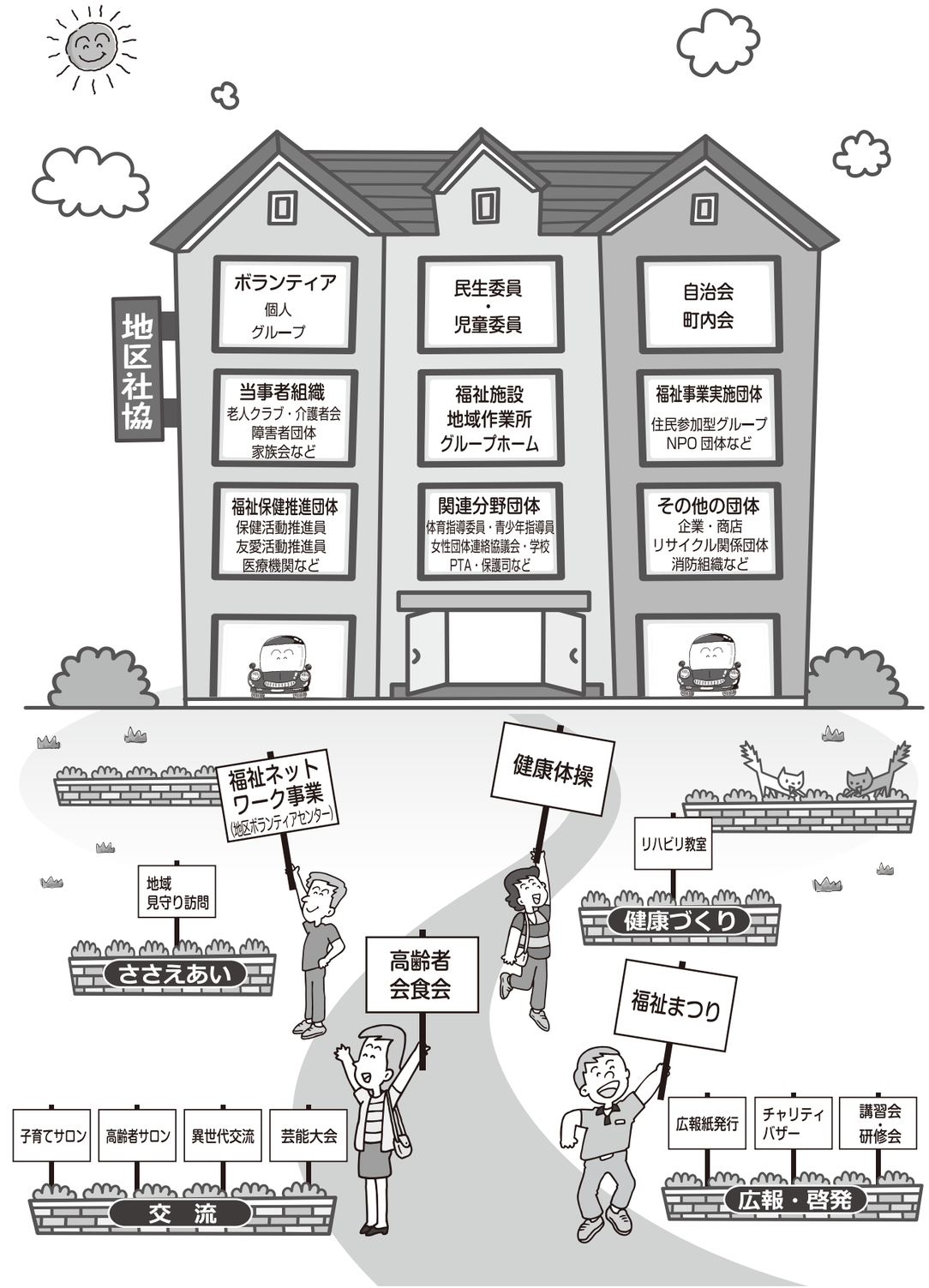
A 原則としてその地区の住人に向けて活動していて、内容によって対象（一人暮らし高齢者・親子など）が決まっているものもあります。中には誰でも参加できたりボランティアを募集しているものもあるので、詳しくは区社協までお問い合わせください。

Q5 どんな活動をしているの？

A 右の図のように会食会やサロン、バザーなど、地区によって様々です。

Q6 誰が運営しているの？

A 右の図のように、色々な個人や団体が会員となっています。専任の職員はおらず、ボランティアで活動しています。それぞれの立場を活かし、「地域福祉」という同じ目標を持って協働する・・・それが「地区社協」です。



※地区によって活動の内容は異なります

地域がもっと広がる・つながる ～地区社協の活動紹介～

永野地区社協　～健康体操～

もっと広がる！

○健康体操の始まり

平成 18 年に、美晴台自治会館で健康体操が民生委員を中心に始まりました。
血圧を測って、ラジオ体操・はまちゃん体操やフラダンスでゆっくりと体をほぐしていきました。
また、年一回、ケアプラザや区の看護師さんのアドバイスのもと体力測定を行ったりしていましたが、今は中国の「練功十八法（れんこうじゅうはちほう）」が中心となり人気です。

○あるときこんな要望が・・・

他の町内会でも開催して欲しいと、次の年、上永谷町内会館でも保健活動推進員の方の協力で始まりました。また同時に、平成 15 年から勧永公園で一年を通じて毎朝 7 時半から行っていた老人会のラジオ体操にも、練功十八法が加わりました。

○地区社協の出番！

この三か所での集まりを、地区社協の事業として、永野地区の人が誰でも、どこの会場にでも参加できる仕組みとしました。
今年は舞岡までのウォーキングも一つのメニューに加えました。「練功十八法」はゆっくりとした動きですが、皆さん、汗いっぱいかいての運動量です。また、自治会の夏祭りを発表の場としても楽しんでいます。

下永谷地区社協　～芸能大会～

もっとつながる！

○みんなが楽しみ

港南区制 40 周年記念で地域活動の表彰を受けた「チャリティ芸能大会」を紹介します。
学校正門で招待を受けた高齢者の方たちがニコニコしながら「おはようございます」「ご苦労様」「お元気ですね」「毎年、この芸能大会が楽しみで」と集まります。
会場では踊りや歌謡曲、今年の芸能大会には水戸黄門が登場、永谷小学校の先生が助さん、格さんになり籠を担ぎ登場し、会場のみなさんに「長生き飴」のプレゼント。区長さんのウクレレ演奏もあり、わいわいサロンの親子がアンパンマン体操をし、お弁当を食べ一日楽しみました。

○色々な人が支えています

この会を支えているのは地区社協のみなさん。その中の青少年指導員さんは、「みんな楽しくやっているところがとてもいい感じです。チャリティで集まったお金についてですが、私は下永谷で里親として子どもを預かるホームを運営していますが、このホームの『トトロの掛け時計』はこのチャリティの収益で買っていただいたものです。これからも地域のために楽しく活動できたらいいと思っています」とお話しくださいました。